

プログラム	NEXT産業創造	必修・選択	選択	単位	—	学期	秋冬期
科目群	PBL型科目	科目名	実践事業創造特論			教員名	亀井省吾/石丸亜矢子/鈴木宏幸/城裕昭ほか
		(英文表記)	Project Based Learning				

概要	新規事業を開発してスタートアップを立ち上げるための研鑽錬成として、基礎科目における知識とスキルの修得を踏まえた上で、実際の事業を成功に導くためには、経験及び業務遂行能力が必要である。 当科目では、本プログラムの最終段階として、現実の課題に対する課題解決やソリューションを具現化すべく事業開発のプロジェクトを実行する。プロジェクトを体験することで知識・スキルの活用経験を蓄積し、実際に活用できるように錬成を重ねるために、クラウドファンディングを実証ツールとして PBL(Project Based Learning)型の演習授業を行う。			
目的・狙い	当科目の履修段階では、以下の知識・スキル・経験等を有していることが想定・期待される。 (1)本プログラム受講前から既に有している知識・スキル・経験 (2)講義・演習型の基礎科目で修得した知識・スキルと対象領域の現状・課題等 これらの知識・スキル・経験等を活用・駆使して、PBL型のプロジェクト演習を行うことで、スタートアップの高度人材に期待される経験及び業務遂行能力を獲得することを目的とする。			
前提知識 (履修条件)	<ul style="list-style-type: none"> 基礎科目を修了していること。 プレマーケティング実証として実施するクラウドファンディングについて、具体的な起案構想があること。 			
到達目標	上位到達目標			
	<ol style="list-style-type: none"> スタートアップあるいはイントレプレナーとしての新規事業におけるプレアリーステージとして、実践的で即戦的なビジネスプランが策定できているレベル。 スタートアップあるいはイントレプレナーとしての新規事業における課題解決・事業開発の提案から遂行に関する各種の業務を牽引することができ、スタートアップに向けて関係者を指導することができるレベル。 			
到達目標	最低到達目標			
	<ol style="list-style-type: none"> スタートアップあるいはイントレプレナーとしての新規事業における具体的なビジネスプランが策定できているレベル。 スタートアップあるいはイントレプレナーとしての新規事業における課題解決・事業開発の提案から遂行に関する各種の業務を適切に理解して実行できるレベル。 			
授業の形態	形態	実施	特徴・留意点	
	対面遠隔混合授業	○		
	授業形式	講義（双方向）	○	PBL(Project Based Learning)型の演習授業を行う。
		実習・演習（個人）	○	フィールドワークも含めた P B L 型の演習授業に取り組む。
		実習・演習（グループ）	○	フィールドワークも含めた P B L 型の演習授業に取り組む。
サテライト開講授業	—			
その他	—			
授業外の学習	授業活動に必要なとされる事前学修、またメンバーに分担された活動中の課題作業(調査、プログラミング、ドキュメント作成等)を行う。フィールドワークを行う。			
授業の内容	原則として、8週間以上の活動を計画的に行う。 月1回のコアミーティング（教員報告）を適切に行うこと。 尚、中間時には講師陣等によるレビューを実施し、最終成果については、発表会にてのプレゼンテーションを実施する。			
成績評価	コアミーティング報告 (50%) 最終成果発表 (50%)。評価は合否にて実施する。			